



## 群馬県の歴史遺産

群馬が誇る世界のたからもの

### 富岡製糸場と絹産業遺産群

「富岡製糸場と絹産業遺産群」は、高品質生糸の大量生産を実現して絹産業の発展をもたらした、日本と他の国々との産業技術の相互交流を示す好例です。西欧から導入した器械製糸技術を発展させるとともに、養蚕業の技術革新を行い、それらの技術を今度は世界各国に広めました。富岡製糸場・田島弥平旧宅・高山社跡・荒船風穴は、生糸生産の各過程における技術革新の主要な舞台であり、さらに教育や出版、取引などを通じて全国に大きな影響を与えました。



富岡製糸場

～日本と世界をつないだ器械製糸工場～



荒船風穴

～国内最大級の蚕種の貯蔵施設～



田島弥平旧宅

～「清涼育」による近代養蚕農家～



高山社跡

～「清温育」による養蚕教育機関～

### ユネスコ「世界の記憶」

#### 上野三碑

上野三碑とは、現在の高崎市に所在する7世紀から8世紀にかけての古代の石碑3基（多胡碑、山上碑、金井沢碑）の総称で、それぞれ特別史跡に指定されています。三碑とも半径5キロメートル以内の非常に近接

した位置に所在しています。

それぞれ、碑の大きさや形状は異なりますが、金井沢碑に記された「下贄郷」あるいは「三家」が、山上碑の冒頭のこの地域の有力氏族と見られる「佐野三家」とかかわるとみられるなど、関連する点も少なくありません。

また、朝鮮半島の石碑文化の影響を反映す

る石碑、文字の使用、碑文からうかがえる仏教信仰等、早くから先進文化が定着・蓄積していた上野国の文化度の高さを象徴する文化遺産です。

平成27年9月24日、世界の記憶の国内候補として決定され、平成29年10月24日からユネスコ国際諮問委員会が開かれ、登録が決定しました。



金井沢碑 「群馬」の文字は県内最古豪族三家氏が、先祖供養と一族繁栄を祈り726年に建てた碑です。



多胡碑 日本最古碑の1つ

711年頃多胡郡の建郡を記念して建てた碑です。その文字は中国書家に高く評価されています。



山上碑 日本語の源流

681年建立、完存する日本最古の石碑。母の供養が日本語の語順で書かれています。